

UT

国際協力学生団体特集

知られざる活動に光を。

United Tomorrow

ユナイテッド・トゥモロー Vol.9

社会貢献という 名の果実。



種をまく、汗を流す、何年かかるかわからない、甘くないかもしれない。

ホンマに カンボジアに送んの？

LOVE &

MONEY

自分らの飲み代に するんちゃうの？



街頭で募金活動をしていると、道行く人からそんなことも言われます。でも私たちは募金活動をやめません。それは、カンボジアの子どもたちが中学校に通い、子どもたちの夢を叶える可能性を広げるために。子どもたちの「勉強がしたい」という想いを応援したい！そうってお金を入れてくれる人たちの善意をそのまま100%役立てたいと思うからです。募金で集めたお金を活動にあてたり、チャリティイベントをするための場所代などには一切使いません。また東日本大震災があった後は、「日本が大変なのに、なんでカンボジアやねん!」と言われたこともありました。でも…私たちは日本とかカンボジアということではなく、困っている人がいたらその人たちのために活動してゆきたいと考えています。代表の高木さんは、世界全体は変えられないけど、自分の目の前の世界は変えることができると信じています。

100%の善意を100%の支援に。



学生国際協力団体 CREDO

代表 高木 大樹 (同志社大学)

<http://ameblo.jp/wearecredo/>



ボランティアも
楽しくなくちゃ、
つづかない。



学生国際協力団体 BEAM

代表 山本 純平 (四天王寺大学)

<http://beam-1120.jimdo.com/>

選抜に選ばれサッカーに打ち込んだ日々・・・しかしケガでサッカーができなくなったとき、僕には何も残らなかった。何か打ち込めるものがほしい。高校では、JICAを通じてインドへ体育館シューズを贈る同好会活動に参加。世界には日本と違う環境があることを知りショックを受けました。インドの子供たちに教育を受けてほしいという想いから、大学ではBEAMの活動に参加。そして2012年、多くの方の支援でBEAM SCHOOLを建設。途上国に学校を作ろうというボランティアはよく耳にするが、建てたあとの運営を支援することが大切と語る山本さん。街頭募金やクラブでのチャリティイベントで集めた資金を、学校を運営する現地のNGOに運営費として役立ててもらっています。現地では、教育を受けるようになったことで「村で暴力が減った」「みんなが清潔にようになった」という声が聞けたそうです。学校ができたことで、生活が変わる、笑顔が増える。そのためにもっと活動を広げてゆきたい。多くの学生に知ってもらいたい。誰もが気軽に楽しめる場を提供することで、ボランティアの新しい波を起こしたい。クラブイベントというとチャラチャラしていると誤解されることもありますが、インドの子供たちの笑顔を見つづけるためには、みんなが楽しみながらボランティアするという新しい価値観を広めることが大切だと考えています。



寄付を一方的に
もらうのは
ちがうと思う。

NPO法人

Table For Two University Association

関西支部代表 西尾 勇輝 (京都大学)

メタボが騒がれダイエットに励む人がいる一方で、貧困にあえぎ飢えにより命をおとれる人たちがいます。お互いが満足できるスキームの創造。肥満に悩んでいる人は健康的になり、食べられない人は食べて元気になる。そんな世界における食の不均衡をなくそうというTable For Twoの考えに共感し活動に参加しました。関西の大学にヘルシーメニューを提供し販売価格のうちの20円を飢えに苦しむ途上国に援助しています。学食へのアプローチはもとより、京都・丸太町に国際協力カフェを3日間限定で開いたり、活動に賛同してくれる飲食店をまわったりしながら、この新しい概念をひろめています。座右の銘は「難題のない人生は無難な人生。難題のある人生は有り難い人生」。将来は、社会をもっとよくするための事業を起こしたいと語る西尾さんの瞳は、何の迷いもなく自信にあふれていました。

就活に有利とか、
ブームとか、
ボランティアしてる
自分が好き!といった
自己満足は
イヤなんです。



学生国際協力団体 infiniteconnection

代表 座間 慶彦 (関西学院大学)

<http://infiniteconnection617.jimdo.com/>

高3のとき親友が亡くなり「夢を叶えられないつらさ」について思い悩んだ座間さん。何もできない自分の小ささを
知り、なにができるのかを考えていた頃、世界中に夢を叶えられないたくさんの子供たちがいることを知りました。
そんな子供たちのために活動がしたい。大学に入ってから、いろんな国際協力学生団体を見て回りました。そこで感
じたことは人のためにボランティアしているというより、就活の一環だったり、ボランティアしてる自分ってどう？
みたいな自分のためにボランティアをしている学生の存在でした。自分の価値観とは違う。そんな想いから自分
の手で学生国際協力団体 infiniteconnectionを立ち上げました。多民族国家であるラオスは公用語がラオス語で
小学校に入っても言葉がわからない子供たちがたくさんいます。小学校に入っても困らないようラオス語を教える
幼稚園を作りたい。またラオスでは想像力を高める教育がなく、絵を描いてくださいという子供たちはみな同じ
絵を描きます。見たままを描く写生のような絵ばかりです。そんな状況を変えたくて絵本プロジェクトも実施して
います。この活動を通じて“今を精いっぱい生きる”という価値観を広めてゆきたいと熱く語ってくれました。最後に
「彼女はいるの？」と質問すると、「・・・実はそれも大きな悩みなんです」と恥ずかしそうに笑った座間さんでした。



特定非営利活動法人プール・ボランティア

泳ぐ社会貢献。

学生ボランティア募集中。

<http://www.pool-npo.or.jp>

日程: 土日中心。平日も毎日活動あり。概ね午前10時～午後12時または午後2時～4時
場所: 大阪市内・府内・神戸市内、奈良市内の公営プール
内容: 障がい者や高齢者とプールで楽しく安全に『水』と楽しむ。
条件: 1.プールの水底におへそが、つけられること 2.水の中ならドンと来いという人
3.パソコンまたは携帯電話のE-mailアドレスをお持ちの方

TEL.06-4794-8299 FAX.06-4794-8298

● 掲載および協賛のご案内

掲載申し込みならびに協賛申し込み、広告掲載については右記UT事務局まで
お問い合わせいただくかUTホームページより申し込みください。

<http://www.united-tomorrow.com/>

ご意見・ご感想・お問い合わせ・掲載のお申し込みは

UT事務局 編集長 尾関栄二
E-mail: eijiti@jttk.zaq.ne.jp
hp: 090-9162-1845

ユナイテッド・トゥモロー 第9号 (2013年9月1日 発行)

発行/株式会社ユナイテッド・トゥモロー
〒669-1337 兵庫県三田市学園3-2 I-514
TEL&FAX: 079-565-8727

◎掲載の写真・イラスト・記事等の無断転載、および複写を禁じます。

◎給料は払えませんが、やりがいがあります。学生インターン大募集中!!
◎セミナー依頼受付中! あなたの活動を広める情報発信力を身につけませんか?

